

第8回みまた 霧島パノラマまらそん

フォトコンテスト 入賞作品

« 審査にあたって »

今回もたくさんのご応募をいただきありがとうございます。

みなさんが撮影された「みまたん霧島パノラマまらそんの魅力が伝わる写真」は、どの写真もとても興味深く、一枚一枚に込められたメッセージをしっかりと受け取ることができました。

また、写真に添えられたタイトルと一緒に拝見しますと、より写真としての深みが増し、味わい深さも伝わってきました。

写真は見るだけでなく「読む」面白さがあります。

写っている人の表情を見れば、その時の大変さや状況が見えてきます。

さらに撮った人は、ドキドキしながらシャッターをきったのかな、

会話をしながら撮ったのかな、など想像すると

一枚の写真からいろいろなことが見えてきます。

このように、言葉ではなく視覚で捉え、その時の瞬間や感情までも共有できる、これが写真の魅力の一つではないかと思います。

今回の審査の評価基準は、

(テーマ性) テーマに沿っているか?

(主題性) 写真の中で何を訴えたいか 撮影者の意図がわかる

(独創性) 撮影場所や、被写体など独自に工夫されているか

この3つを重要視して評価しました。

今回応募された作品は、どれも良い写真ばかりで非常に評価に迷いましたが、

それだけ応募された方々の写真に対する思いの強さを感じました。

最後に、このみまたん霧島パノラマまらそんフォトコンテストを通して、

あらためて写真がもつ力や、三股町の魅力を知る機会となりました。

今後も、皆様がこのように自己表現し、

活躍する場のサポートをさせていただけたら幸いです。

誠にありがとうございました。



第8回みまたん霧島パノラマまらそん

フォトコンテスト審査員

伊藤郁美

フォトコンテスト審査員

伊藤郁美 プロフィール

三股町餅原出身、都城市山田町在住。41歳

【経歴】

20歳　　スタジオゼロのカメラマンアシスタントになる。

グランドパーティオ都城専属カメラマン。

27歳～　スタジオ退社後、フォトグラファーとして独立。

鹿児島、都城を中心にブライダル撮影、学校アルバム撮影、

家族写真撮影などを専門とし、婚礼アルバムなどのデザイン制作も担う。

33歳～　三股町を中心にホールイベント、野外イベントなどの広報用撮影に移行。

三股町と連携をとり、ふるさと祭りの記録撮影、三股町社会福祉協議会が

手掛けるコミュニティデザインラボ掲載用撮影、冊子『オーバーラップ』撮影、

地域おこし協力隊企画『KOKOGANAGATA』の冊子撮影、

デザイン制作などを担う。

38歳～　市議、町議、県議用ポスター・リーフレット撮影、病院、高校などの

パンフレット撮影、諸県弁カレンダーの企画・撮影デザイン、

五本松事業関連の広報用撮影などを担う。

40歳～　五本松事業関連のイベント撮影、動画編集を行う。

得意分野　　人物撮影（特に女性、こども）が得意。

MMate 通信
Mmate Publications エムメイト

人のぬくもりが伝わる写真を
撮影した写真から、どこか
懐かしさやぬくもりを感じ
て、ここに行つてみたいと思って
もらえたなら」と微笑む郁美さん。こ
のほど完成し長田地区の人たちの
表情や暮らぶりを記録した写真集
で撮影と構成を担当。発刊を記念し
た写真展も各地で開催され、多く
の反響を呼んでいる。20歳から7年
間、写真スタジオに勤め、結婚式場

のクローズアップ
まちを支える人たち (12)

餅原出身 伊藤郁美 (35) さん

思いが重なりあるその先に

や学校行事の撮影で技術を学び、独
立して、自分イメージするもの
を追い求めた。あまり、ときには依頼
者の求めど、されが生じることも
ある。「大切なのは、一步引いて全体
を俯瞰してみること。摩擦を怖
がらず互いに対話を繰り返し尋ね合
うことで、人のぬくもりが伝わる作
品につながると信じている」と語る。
依頼者の喜ぶ顔を目に変えて、幸
せの瞬間を、これからも撮り続ける。

広報みまた 2019.5月号
Mメイト掲載

【最優秀賞】



(作品名) 達成感はひとしお！

(応募者名) 西山 恵：三股町

【講評】

『みまたん霧島パノラマならそんの魅力が伝わる写真』という、このコンテストのテーマに沿っていて、写真から声が聞こえてきそうな、感情が動かされる作品。被写体の表情から何を伝えたいかがはっきりわかり、見た目に強い印象を与える。瞬間性があり、絶妙なシャッターチャンス・タイミングを掴みきれている。画角（写真に収められた範囲）について、被写体の両腕までしっかり収められていれば、完璧といってよい作品である。

【優秀賞】



(作品名) 激走
(応募者名) 小牧幸嗣：三股町

【講評】

テーマに沿っていて、情緒的な作品。懸命に走るランナーの躍動感をうまく捉えており、表現性がある。視点や構図のバランスがとても良い。ピントがしっかりと合っていて、色の表現力も高い。

【優秀賞】



(作品名) 給水からの呪文
(応募者名) 中村 豪：三股町

【講評】

独創性やオリジナリティがある作品。撮影場所や、被写体など独自に工夫されている。『三股町にハリーポッターが出現！！』と話題性があって、大会の楽しさが伝わり、見る人にインパクトを与える。もう少し給水所をしっかり入れて撮影すると、全体的に完成度の高い写真になる。

【優良賞】



(作品名) ゴールが見えてきたよ!!

(応募者名) 中村史枝：都城市

【講評】

表現性があり、見た人に強く印象を与える作品。子供の表情から伝わる息の苦しさや、親子で手を取り合い、励まし合う様子がタイミングよく捉えられている。撮影者の意図も伝わってくる。目線の先の余白も良い。

【優良賞】



(作品名)

ゴール、晴々！

(応募者名)

本村伸二：霧島市

【講評】

臨場感の出るカメラアングルと絶妙なシャッターチャンスを掴んでいる作品。ランナーの達成感とエネルギーが伝わる。

両サイドに写っている人物の腕まで入れて撮影すると、さらに良くなる。

【特別賞】



(作品名) 絶景

(応募者名) 上野直孝：都城市

【講評】

霧島を背景に、ロケーション、立ち位置の設定が素晴らしい作品。

放射線構図を使用して、被写体と背景のバランスが良い。

大会にたくさんのランナーが参加したことも伝わる写真。

【特別賞】



(作品名) 笑顔のスタート

(応募者名) 徳満隆太：都城市

【講評】

テーマ性に沿っていて、ランナーの楽しそうで意気揚々とした姿が大会に対してポジティブな印象を与える作品。ピントの絞り値も上げ、なるべく多くのランナーの表情が分かるように撮影しているため、多角的に楽しめる。

【特別賞】



(作品名) 飛ぶように走る

(応募者名) 西山大地：三股町

【講評】

決定的シーン。シャッターチャンスを逃さず、素晴らしい構図の作品。

躍動感も表現されていて、思わず写真から声が聞こえてきそうなリアル感がある。

画角（写真に収められた範囲）について、被写体の両腕までしっかりと収められていればさらに良くなる。

【特別賞】



(作品名)

スタート前の撮影会

(応募者名)

平下 太：都城市

【講評】

話題性があり、マラソンだけを楽しむのではなく、コスプレでも楽しめる大会だというユーモアさが伝わる作品。ゲートを背景に被写体の立ち位置が良い。

子どもたちのポージングも愛らしく、多世代で楽しむ様子が伝わる。

被写体の足元全てを入れ込んで撮影するともっと良くなる。

【特別賞】



(作 品 名) 青春の1ページ

(応募者名) 増元光希：三股町

【講評】

オリジナリティがあり、撮影場所や被写体など独自の視点がある作品。

色味も、ポラロイド写真のような仕上がりで、表現力がある。

カメラアングルをもう少し工夫してみると、もっと面白みが出て良くなる。

【特別賞】



(作 品 名)

かがやく笑顔

(応募者名)

増元絢美：三股町

【講評】

テーマに沿っていて、視点のおもしろさや熱気が伝わる作品。

ピントもしっかり合っていて、力強さを感じる。

日の丸構図になっているため、フレーミングをバランスよくできれば、もっと良くなる。